

## 『金曜日』で 逢いましょう

「やると決めた時にみんなが横並びで始める、そこがおもしろいと感じました」

高橋郷さんはNPO活動に初めて参加した時のことをそう振り返る。岩手県盛岡市役所に務めていた高橋さんは、NPO法施行により導入された職員のためのNPO研修に参加し、NPO特有の自由でフラットな風土に惹かれた。8年間在職した市役所では農政部、財政部、保健福祉部、廃棄物最終処分場を歴任し日本社会が抱える問題を現場の最前線で見えてきた。「現場の課題に対し国際的な目線を持って革新的な解決策を生み出したい」

そう考えて2009年に退職、渡米。行政大学院で環境政策とNGOマネージメントを学ぶうち貧困、飢餓、エイズなどの深刻な社会問題を抱えるアフリカを知らずして、世界の公共政策問題は語れないという想いが募った。在学中、ウガンダ政府機関のインターンに入ったことを機に、高橋さんとアフリカの関係は始まった。

12年12月、高橋さんは外務省主催のNGO研修で再び東アフリカ

## アフリカの人々の笑顔を 東北の被災者にも見せたい

自由でフラットなNPOの風土が好きだ。ケニアの「スラム」街に飛び込み、地元出身者とともに、女性支援活動を行なうNGO活動を展開中。

の地にいた。その間クリスマス休暇を利用してマサイ族の村を訪れたが、そこで出された牛乳が悪かった。ケニアの首都・ナイロビに戻った後もお腹を壊したまま。気分転換に公園に出掛けたところ、数人の女性に熱心に語りかける男性に出会った。後にNPO法人リトル・ビーズ・インターナショナル(LBI)を共同設立するアグレイ・アヴェンデイさんだ。

聞くとアグレイさんはコロゴッチョスラム出身。スワヒリ語で「ゴミ」を意味するコロゴッチョはナイロビ第三のスラム。犯罪者、売春婦、麻薬中毒者が多く、周

辺のスラムからこぼれ落ちた人がくると言われるほど環境は劣悪だ。アグレイさんはそこで伝統的な医療にこだわる妊婦を近代的な医療体制に導くなど、母子保健向上のための活動をしているという。すぐに意気投合した二人は急速に距離を縮め、高橋さんは滞在中何度もコロゴッチョへ足を運んだ。



たかはし ごう・大学卒業後、岩手県盛岡市役所に勤務。退職後米国の大学院へ留学中、ウガンダ国際機関のインターンシップを機にアフリカでのNGO活動を始める。現在はリトル・ビーズ・インターナショナルの共同代表者。

日本へ戻って数カ月、メールなどでやり取りを重ねた二人は13年7月に東京、今年7月にナイロビでLBIを設立した。主な事業はコロゴッチョの女性の教育・就業支援とHIV予防啓発とケアに関するもの。高橋さんは現在日本と

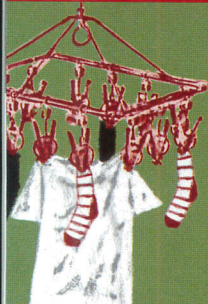
## 高橋 郷さん

# 週刊金曜日

9|26 2014

1009号  
毎週金曜日発売  
定価580円

2014年9月26日発行 毎週金曜日 1993年7月29日創刊 第1027号



安倍さん、  
家事やって  
ますか？

ジェンダーと家事労働ハラスメント

